

2017年7－9月期四半期別GDP速報（1次QE）公表に際しての
茂木経済財政政策担当大臣談話

2017年11月15日（水）

1. 本日公表した2017年7－9月期GDP速報では、実質成長率は2001年以来16年ぶりの7四半期連続のプラスとなり、前期比0.3%、年率に換算すると1.4%となった。

名目成長率は、前期比0.6%、年率に換算すると2.5%となった。また、名目GDPの実額では546兆円となり、過去最高の水準となった。

内需については、台風や長雨といった天候不順が外食等に一時的な影響を与えたこともあり、横ばい圏内の動きとなったものの、外需は、海外経済がゆるやかに回復するなかで、アジア、アメリカ向けの輸出が増加したこと等により、プラスの寄与となった。

景気については、ゆるやかな回復基調が続いているとの認識に変わりはない。

2. 政府は、「生産性革命」と「人づくり革命」を推進するため、新しい経済政策パッケージを12月上旬に策定する。

また、年末に向けて、災害対応を始めとする追加的財政需要に対応するため、平成29年度補正予算を編成する。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、これらの政策の効果もあいまって、景気はゆるやかに回復していくことが期待される。

（以上）